

揖斐農林事務所の普及活動状況 令和6年12月27日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■指導農業士 西濃ブロック指導農業士会研修会を開催

12月5日に揖斐地区指導農業士会は、西濃地区の指導農業士会との合同研修会を開催し、指導農業士および関係機関14名が参加した。今年度は揖斐地区が研修内容を企画し、J Aいび川大野果実共同選果場の視察と会員の経営訪問を行った。視察先では、柿の生産状況や選果機について農業普及課とJ Aいび川から説明を行った。また会員の経営訪問では、特長ある花苗生産の経営について学んだ。

研修会終了後、参加者が親交を深めながらお互いの経営改善の方法や担い手育成の考え方等について活発な意見交換を行った。

農業普及課では、今後も指導農業士の活動の支援を行う。



【会員の経営訪問の様子】

■アスパラガス 第4回帰農塾・修了式を開催

12月14日にJ Aいび川担い手サポートセンターでアスパラガス帰農塾を開催し、受講生3名が参加した。帰農塾は揖斐アスパラガス部会、J Aいび川、農業普及課が連携し、新規部会加入者の確保を目的に年4回の講座行っている。

今回は厳寒期の管理と病虫害防除の講義を行った。修了式では、アスパラガス部会長から受講生一人ずつに修了証を手渡され、激励の言葉が送られた。

農業普及課は、今後も関係機関と連携しアスパラガスの産地育成の支援を行う。



【講義の様子】

■農業婦人クラブ 農村女性のつどいを開催

12月5日に揖斐川町地域交流センターはなももで、揖斐地域農業婦人クラブが農村女性のつどいを開催し16名が参加した。

今回は、新商品の模索と技術習得を目的に「女性起業化研修支援」を活用し、講師を招いて、徳山なんばを使用したメニュー開発の試作及び商品開発のコツや衛生管理などの研修を行った。徳山なんばを使用した調味料やお菓子等を調理し、出来上がった料理を皆で試食した。

農業普及課は、今後も農業婦人クラブ活動の支援を行う。



【講師との調理の様子】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■茶 ぎふ清流GAP評価受評支援

12月17～19日の3日間、美濃西部製茶組合に出荷する生葉出荷者5名が、国際水準GAPガイドラインに準拠した「ぎふ清流GAP」評価を受評した。

評価当日は、書類、帳票類を確認するとともに、ほ場、倉庫（肥料、農薬、燃料、資材）、休憩場所等の状況を専門の評価員が評価した。2～3週間後に評価結果が通知される予定である。

農業普及課は、是正が必要な項目について、リスク評価項目の見直しや管理状況の修正等を協議しながら進め、安全、安心で環境に配慮した持続的な農業の実現に向け支援を行う。



【評価の様子】

■いちご いちご目揃え会の開催

揖斐地域は11月からいちごの出荷が始まり、12月に入り出荷が本格化してきた。

12月13日、16日、20日に揖斐地域の3組合でそれぞれ市場や全農岐阜等を招いて目揃え会を開催した。目揃え会では、市場から良品質ないちごが出荷されていると評価があった。生産者同士で出荷規格などの確認を行った。

農業普及課からは、冬期の草勢維持や病虫害対策等について情報提供を行った。今後も、いちごの長期安定出荷に向けた支援を行う。



【目揃え会の様子】

■麦 実証ほ場等の生育調査を実施

12月16日に池田町、揖斐川町、大野町のほ場でJA、肥料メーカー担当者とともに麦類の生育調査を行った。

揖斐地域の令和7年産の小麦、大麦の栽培は10月下旬から始まっている。農業普及課は生産者の協力のもと、生育状況を把握するための調査や小麦の収量・品質向上と環境への負荷低減のための施肥改善の実証ほを設置し、今後も定期的に生育調査を行う。また収量・品質向上に向け生育状況に応じた栽培管理の情報提供や調査結果を地域の栽培指針に活用していく。



中山間地域を守り育てる対策

■特産 揖斐の地域食材のPRと食の伝承活動を振り返る会の開催

12月14日に、農業普及課は、揖斐の地域食材のPRと食の伝承活動を振り返る会を開催し、岐阜大学里山暮らし応援隊と薬草や伝統野菜生産者が参加した。

この会で、岐阜大学里山暮らし応援隊は、揖斐の食材を使用した料理を囲みながら生産者らとの意見交換や1年間の活動を振り返った。学生からは、今後の活動について意見交換することができ、有意義な会になったとの意見があった。

農業普及課は今後も、学生の活動を応援しつつ、中山間地の地域振興に向けた支援を行う。



【振り返る会の様子】